

特集 英語が苦手な生徒への支援

スモールステップを大切にしたりーディング指導

石崎 雄一

(徳島県東みよし町立三好中学校)

1. はじめに

NEW CROWNのUSE Readではまとまった量の英文を読みます。これらの英文を読んで理解するためには次の3点が生徒に必要だと考えます。

- (1) その英文を読みたいという意識を持つこと。
- (2) 十分な語彙力・文法力をつけておくこと。
- (3) 段階的に、そして繰り返し英文を読むこと。

今回はこの3点を踏まえ、スローラーナーにも配慮した授業実践例を紹介したいと思います。

2. 授業実践例

2年 Lesson 6 Uluru USE Read (p.70, 71)の1時間目で、次の3つの学習活動を行います。

- (1) 本文の導入 (2) 新出語句・ビンゴ
- (3) 本文の内容理解

この授業では、本文の内容(主に事実)を理解することを目標とします。さらに深い内容の読み取りなどの発展的活動は次の時間とします。本稿では、1時間目の活動を中心に述べます。

(1) 本文の導入

- ① ピクチャーカード(エアーズロックの写真など)を見せ、口頭で生徒に質問する。質問は
(a) Is this a mountain? / What's this?
(b) How many people visit the rock every year?
(c) Do you want to climb it? など。
- ② 数人が答えた後で、本文を黙読させる。

以前、先輩の先生から「生徒が英文を読みたいと思わせる導入が大切」と教えていただきました。そこで、導入の段階でピクチャーカードを使って本文の内容を紹介したり、予測させたりす

る質問をします。ただ、導入の段階で本文の内容を伝えすぎると自分で読む必要性が下がるので、本文の内容を伝えすぎないように注意しています。

導入の質問では(a)本文の内容理解の手助けとなるもの、(b)本文を読めばわかるもの、(c)生徒自身の立場で答えるものの3種類の質問をします。

Yes / Noで答えられる質問を取り入れることでスローラーナーにとっても答えやすくなります。

(2) 新出語句・ビンゴ

- ① 新出語句の発音練習・意味の確認をする。(ワークシートAを配布する。)
- ② Bingo 1, Bingo 2に語句を選んで記入する。(それぞれ、10語のうちから9語を選ぶ。)
- ③ 語句1)~10)の発音練習をする。
- ④ Bingo 1をする。
- ⑤ 語句11)~20)の発音練習をする。
- ⑥ Bingo 2をする。(記入に時間がかかる生徒は③・⑤の発音練習のときも記入を続け、書き終えるように指示する。)

スローラーナーの多くは、Readの本文中に意味がわからない語句が多くあり、読めないと感じるようです。そこで、本文に出る語句の意味を前もって確認させるために、ビンゴゲームをします。

ここでは次のような語句を取り上げます。

- ・このセクションでの新出語句
- ・既習の語句で、新しい意味で出てくるもの
- ・意味が理解しにくいと思われる語句
- ・使用頻度が高いと思われる重要表現

ビンゴを行い、本文中に出てくる20の語句の意味を確認し、発音練習をしておくことで本文の意味が理解しやすくなります。

(3) 本文の内容理解

- ① 教科書本文にあるワークシートAの★の語句に線を引く、意味を書く。(ワークシートBを配布する。)
- ② STEP 1をする。答え合わせをして、基本的な内容を確認する。
- ③ STEP 2~STEP 4をする。早くできた生徒は解答を黒板に書く。答え合わせをする。

まず、ワークシートAの★の語句(主に新出語句以外のものにつけています)の意味を教科書の英文の下部に書き込ませることで、英文の意味が理解しやすくなります。また、書き写すことで、ビンゴで盛り上がった状態から落ち着いた状態へと雰囲気を変えることもできます。

次に、各自でワークシートBの質問に答え、本文の内容を理解していきます。質問は本文中で特に押さえておきたい内容を中心に作成しています(教科書のIn-Readingの質問も参考にしています)。

STEP 1は選択式の質問です。選択解答式にすることで、スローラーナーがワークシートに取りかかりやすくなるからです。STEP 2・STEP 3は各段落の内容についての質問で、日本語で答えます。STEP 4は本文全体を読み、英語での質問に英語で答えます。生徒の状況に応じて答えのヒントを出します。

ワークシートBは、読み取りのレベルが段階的に上がるので、苦手な生徒はSTEP 3までをする、得意な生徒は時間を決めて仕上げるなどの指示を出すことで、生徒一人一人に応じた活用も可能です。

3. おわりに

以前、生徒を対象としたアンケートで、ビンゴをしたいという生徒が多く、本文の内容理解に結び付けるためにも、ワークシートAを授業に取り入れました。誰にでも取り組みやすく、今では定着しつつあります。回数を重ねるにつれて、短時間でスムーズに進むようになりました。ある生徒が「わからない語句の意味の確認だけでなく、読み方も確認できるので、後で本文が読みやすくなる。」と言っていました。語句の読み方と意味の両方がわかることで、本文が読みやすくなるようです。

<ワークシートA>

Lesson 6 Uluru [Use (Read)] (教科書 P70, 71)

Bingo 1 本文の中で出てくる語句を確認し、ビンゴをしましょう。(★は新出語句です。)

No.	English	Japanese	line
1	★ 1) looks like ~	~のように見える	L 3
	□ 2) actually	実際は	L 5
	□ ★ 3) during the day	昼間の間に	L 5
	□ ★ 4) looks purple	紫色に見える	L 6
	□ ★ 5) a place to ~	~する場所 (～には動詞の原形)	L 8
2	□ ★ 6) started to ~	～し始めた (～には動詞の原形)	L 11
	□ ★ 7) over 40,000 years ago	4万年以上よりも前に	L 11
	□ 8) deeply	深く	L 12
	□ 9) show respect	敬意を示す	L 12
	□ 10) everything around it	そのまわりのすべて	L 12

Bingo 2 本文の中で出てくる語句を確認し、ビンゴをしましょう。(★は新出語句です。)

3	□ ★ 11) are glad that ~	～ということがうれしい	L 1
	□ 12) among the visitors	訪問者の間で	L 3
	□ ★ 13) some want to ~	～したい人もいる (いれば)	L 3
	□ ★ 14) others want to ~	(他には) ~したい人もいる	L 4
	□ ★ 15) take pictures of ~	～の写真を撮る	L 4
4	□ ★ 16) welcome	～を歓迎する	L 6
	□ 17) culture	文化	L 7
	□ ★ 18) your stay	(あなたの) 滞在	L 7
	□ 19) while	(～する) 間に	L 7
	□ 20) in Anangu Land	アナング人の土地に	L 7

・教科書の中の★の語句に線を引く。意味を下に書いておきましょう。

<ワークシートB>

Lesson 6 Uluru [Use (Read)] (教科書 P70, 71)

STEP 1 P70の段落①を読み、次の質問に答えましょう。

- (1) エアーズロック (Ayers Rock) とは何ですか。(L5) ()
(a) 大きな山 (b) 大きな岩 (c) 大きな川
- (2) エアーズロックは1日で何色と何色に変わりますか。(L6-7) () ()
(a) 赤 (b) 青 (c) 茶 (d) 紫
- (3) 毎年何人の人がエアーズロックを訪れますか。(L7) ()
(a) 35,000人 (b) 350,000人 (c) 3,500,000人

STEP 2 P70の段落②を読み、先住民のアナング人についてまとめましょう。

- ・(4) エアーズロックは()場所である。(L9)
- ・(5) エアーズロックに()という名前を付けている。(L10)
- ・(6) ()に深い尊敬の念を抱いている。(L12)

STEP 3 P71の段落③・④を読み、次の問いに答えましょう。

- (7) アナング人は人々がウルルを訪れることをどう思っていますか。(L1)
- (8) ウルルにおいて、観光客がしないほうがよいことは何ですか。2つ書きなさい。(L3-5)
・(①) () こと
・(②) () こと
- (9) この英文(新聞のコラム)で筆者が伝えたいことを表す英文1文を書きなさい。

STEP 4 次の質問に英語で答えましょう。

- (10) When did the Anangu start to live near the rock? ([2])
- (11) What do the Anangu teach visitors? ([3])
- (12) Do the Anangu welcome visitors? ([4])